

平成 30 (2018) 年 1 月 31 日

東洋大学情報連携学部

学術実業連携機構

INIADcHUB

街に、ルネッサンス

UR 都市機構

独立行政法人 都市再生機構

団地における I o T 及び A I の活用に向けて

東洋大学 INIAD と UR 都市機構が技術協力の覚書を締結

東洋大学情報連携学部 学術実業連携機構（以下「INIADcHUB」）と UR 都市機構（独立行政法人都市再生機構（以下「UR」））は UR 賃貸住宅（以下「UR 賃貸」）における屋内外の住環境の向上のための I o T 及び A I の活用に向けた検討を進めるべく、技術協力の覚書を締結しました。

今後は、坂村健氏（INIADcHUB 機構長）を会長とする研究会を設置し、UR 賃貸における I o T 及び A I の活用に向けたコンセプトづくりを進めてまいります。



《INIADcHUB 坂村機構長と UR 中島理事長による覚書締結(1 月 30 日)》

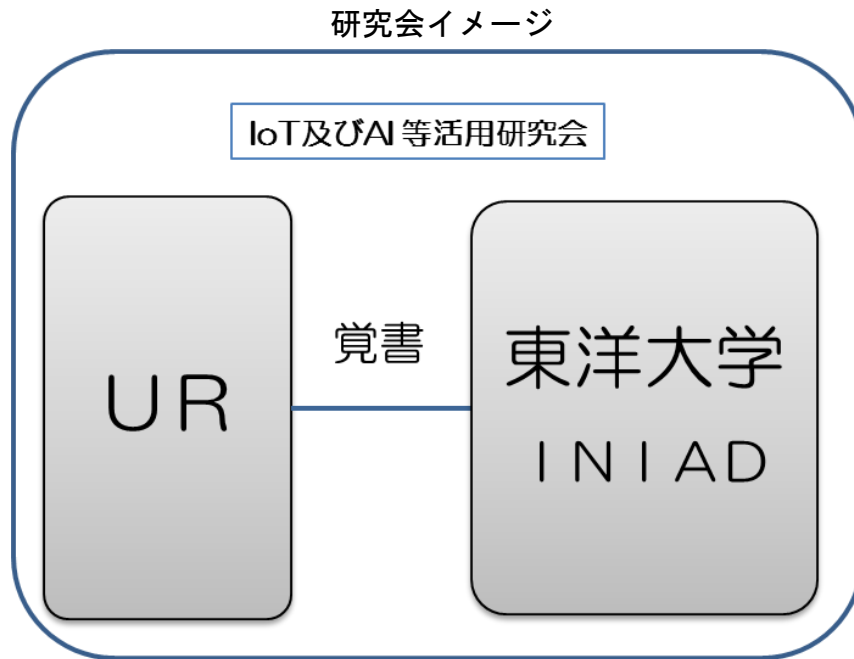
お問い合わせは下記へお願いいたします

○東洋大学情報連携学部 広報担当 03-5924-2603

○UR 都市機構 本社 広報室 報道担当 045-650-0887

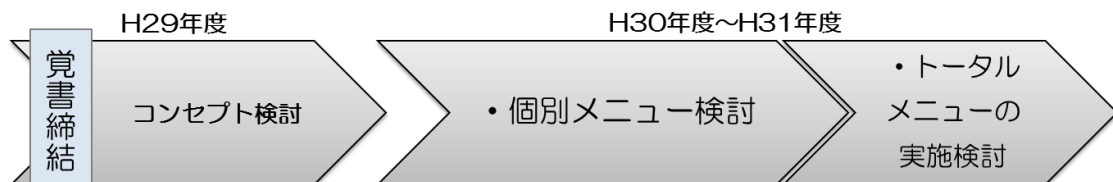
1 覚書の内容

INIADcHUBとURは、URの保有する住環境へのIoT及びAI等の活用について提言を行うことを目的とした研究会を設置し、提言に向けた技術協力を実施することとしています。また、覚書の有効期間は3年間としています。



2 今後のスケジュール

研究会においては、検討を進めるにあたってのコンセプト策定を行った後、個別のメニューについて採用に向けた技術検証等の実施、トータルメニューの実施に向けた検討を進める予定です。なお、具体的な取組内容や対象団地等については未定であり、今後、研究会にて検討することとしています。



以 上